

第 19 回議会報告会 報告書

地 域 名		出合地域			
年 月 日		平成 31 年 4 月 26 日（金）		会 場 名	出合コミュニティスポーツセンター
開始時間		19 時 30 分		終了時間	21 時 05 分
参 加 数		男性 18 人		女性 2 人	合計 20 人
班 長		田路 之雄		司 会 者	田路 之雄
報 告 者		津崎 和男		書 記	深澤 巧
班 員 名		田路 之雄、津崎 和男、深澤 巧			
市 民				対 応	
報告に対する質疑	① 常任委員会の調査報告書で具体的な提言がされていない。まとめについても「努力されたい、検討されたい」云々では委員会の調査の役目を果たしていない。一般質問についても「拡充してほしい」「無料化にしてほしい」だけの議論になっている。		① 委員会の調査にしても一般質問にしても本来は市や住民の課題を把握して、その課題を浮かび上げらせながら調査研究する姿勢が大切である。その点が少し欠けていて切迫感の無い内容になっているのかもしれない。		
	意見交換会での質疑	① 高齢者優待乗車証の乗換運賃について運行事業者との調整ができないものか。		① システム改修に多くの費用が必要との回答である。	
② 「やぶくる」の利用は八鹿病院まで利用できるように拡大できないか。夜間も利用できない。利用者実態、料金体系などの調査を行い、制度の一元化や助成について議会も調査し政策提案すべきだ。報告会などでの市民意見を政策提言ととらえ提案型の議会になってほしい。		② タクシー会社の営業の関係から関宮と大屋地域限定になった。公共交通への助成は 150 円運賃など多くの制度があるが、制度と利用ニーズと合致できていない。交通弱者に対する助成制度を再構築していく必要がある。			
③ 空き家対策は倒壊等による二次被害が出てからでは遅い。屋根の崩落等危険な家屋については周囲にネットを張るなど市の対応がされないのか。必ず事故が起きる。		③ 約 1,300 戸の空き家がある。特定空き家の調査もされている。取壊し費用についても国県市の助成があるが、相続・所有権の問題もある。通学路などで危険な所は積極的な対応が必要だ。危険な現状を市に伝える。			
④ 議会だよりも内容が硬い。小学生でもわかるような工夫をしてほしい。一般質問も難しい言葉がよく使われて内容が分かりにくくなっている。		④ 県町村議会の研修会で厳しい指摘を受けた。今後、議会広報も読みやすいものにしたい。先進議会に視察調査も予定している。			

	市 民	対 応
その他（提言など）	①新文化会館の事業費の増大やアスベスト問題が今頃出てきた。計画性や透明度が欠けている。 ② 災害が増えている。山間地での治山事業を県に強く要望すべきである。森林環境税は国に対し、内容の濃い交付事業になるよう要望されたい。 ③ 医師の配置の偏在、不足は若者定住の大きなネックである。医師確保について研究されたい。 ④ 介護や国保の負担が重くなっている。国の仕組みの変更を議長会レベルで要望されたい。 ⑤ 交付税の原資が減少している。市道の改修についても継ぎはぎになっている。インフラ整備の財源確保について制度改革が根本的に必要である、地方議会として疲弊する地方救済について強く要望されたい。 ⑦ 議会の放送を見ても争点がわからずイライラする。高齢化や財政も厳しい話ばかりでなく、未来が見える話が出てきてほしい。 マイナスな話ばかりだ。住民が前向きな気持ちになることも取上げてほしい。 ⑧ 出合診療所の最寄りのバス停が遠く、住民が困っているように見える。通院の足の確保について細やかな配慮が必要でないか。	①から⑧について、ご意見としてお聞きする。
備考	なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年5月10日

報告者 4班 班長 田路 之雄

